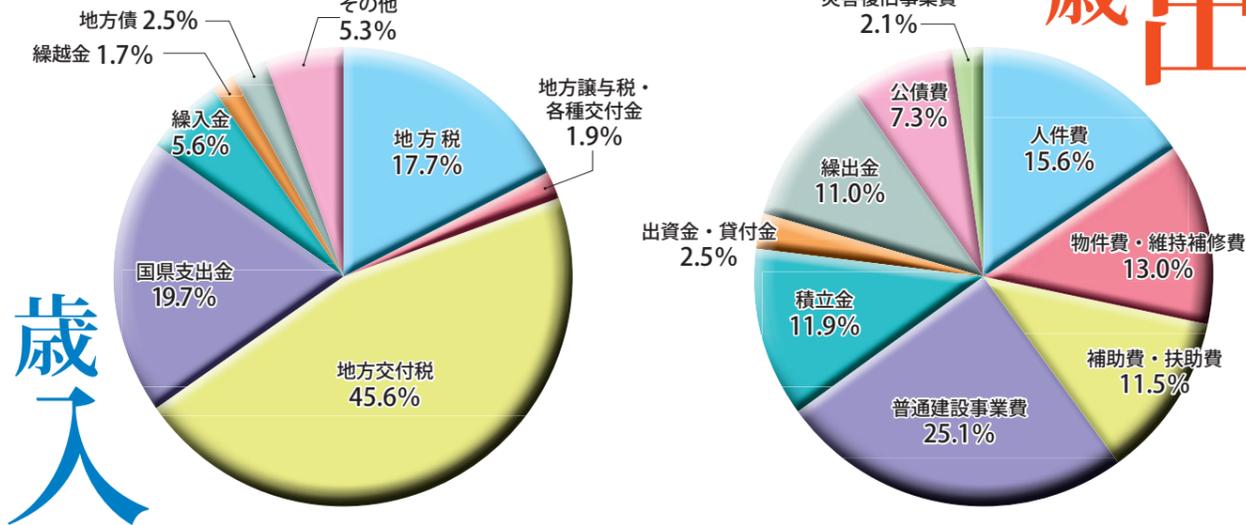


平成25年度決算状況をあらわしたグラフ

歳出



歳入

平成25年度の主な事業です

元気な地域づくり交付金事業 〈事業費 357万円〉

各地区で地域の課題解決のための話し合や地域交流などを開催し、元気な地域づくりに取り組んでいます。



地域資源活用総合交流促進施設建築工事 〈事業費 2億7,720万円〉

新たな特産品等の開発や既存商品の販売促進と商工観光産業の活性化を図る施設（道の駅）を建設しました。



統合小学校準備費 〈事業費 2,827万円〉

関・湯原小学校の閉校に係る経費と七ヶ宿小学校の開校に向けた学習環境の整備等を実施しました。



登庁しました。少し緊張した面持ちではありましたが、町政の最高責任者としての決意を新たに執務に取り組みました。



初登庁

小関幸一新町長

9月24日付で就任した小関幸一町長が、初登庁しました。多くの職員の出迎えを受け、役場職員として40年間勤務した役場に、およそ3年半ぶりに町長として

職員と町民の方々の見送りを受け、2期8年間、執務を行った役場庁舎を後にされました。大変お疲れ様でした。



退任

梅津輝雄前町長

9月23日を以て任期満了となった、梅津輝雄町長の退任式が9月22日行われました。開発センターでの退任式には職員およそ40名が出席しました。退任式後、

七ヶ宿町の平成25年度決算の状況をお知らせします

みなさんから納めていただいた税金や国・県からの支出金等がどのように使われているかを平成25年度の普通会計（一般会計・町営バス特別会計・介護サービス特別会計・七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計）を中心に決算の概要をお知らせします。

平成25年度に普通会計において町に入ったお金（歳入）は、29億3,237万円で、町が使ったお金（歳出）は、28億3,000万円でした。前年度と比べると歳入は1億258万円の増、歳出は9,945万円の増となりました。

歳入		
地方税	5億1,957万円（↓）	町民税、固定資産税などみなさんから納められた税金やダム交付金などです。
地方譲与税・各種交付金	5,714万円（↓）	自動車重量譲与税及び地方消費税交付金や利子・配当にかかる税の一部が町に交付されたお金です。
地方交付税	13億3,754万円（↓）	地方税の収入が少ない団体に財源を保障し、一定の行政サービスを提供できるよう国から交付されたお金です。普通交付税と特別交付税、震災復興特別交付税があります。
国県支出金	5億7,745万円（↑）	国や県から特定の目的のために支出されるお金です。
繰入金	1億6,326万円（↓）	財源不足を補うために基金などから補てんしているお金です。財政調整基金、減債基金、振興基金などが含まれます。
繰越金	4,924万円（↑）	前年度から繰り越したお金です。
地方債	7,230万円（↓）	町が財源を確保するために借り入れたお金です。
その他	1億5,587万円（↑）	町の施設使用料や町営バスの使用料・中小企業等への貸付金の元利収入などのお金です。
合計	29億3,237万円（↑）	
歳出		
人件費	4億4,127万円（↓）	町長や議会議員の報酬、職員の給与、共済組合（社会保険）の負担金などになります。
物件費・維持補修	3億6,765万円（↑）	物件費は電話代や郵便代、燃料費、光熱水費、消耗品費、委託料などになります。
補助費・扶助費	3億2,404万円（↑）	補助費は各種団体への補助金、仙南地域広域行政事務組合や公立刈田総合病院等への負担金などになります。扶助費は生活するための社会保障給付金、医療費助成などになります。
普通建設事業費	7億1,060万円（↑）	地域資源活用総合交流促進施設建設（道の駅）や農林産物保管庫（雪室）建設などの工事に使われたお金です。
積立金	3億3,678万円（↓）	町の貯金で財源不足が生じた時の蓄えとして、財政調整基金などに積み立てたお金になります。
出資金・貸付金	6,975万円（↓）	民間等に対して必要な資金の貸し付けを行うためのお金です。
繰出金	3億1,177万円（↑）	国民健康保険、診療所、介護保険、後期高齢者医療、簡易水道、公共下水道などの特別会計に補てんしたお金です。
公債費	2億766万円（↓）	町が財源を確保するために借り入れたお金の返済金です。
災害復旧事業費	6,048万円（↓）	災害等により被災した施設を復旧するためのお金です。
合計	28億3,000万円（↑）	

※（ ）内の矢印は、平成24年度決算と比較しての増減を表しています。

歳入から歳出を差し引き、翌年度へ繰り越した額を除いた実質収支は… **7,875万円**となりました